

13:00～

第1セッション

第1会場

座長 市立福知山市民病院 藪内 潤一

- | | | | |
|---|---|--------------|-------|
| 1 | 大腿骨頸部骨折術後一症例の膝痛と運動機能の経過 | 学研都市病院 | 大前 麻希 |
| 2 | 立ち上がり動作において後方への安全性・安定性の低下を認めた塞栓性脳梗塞の一症例 | 田辺記念病院 | 武田 晃一 |
| 3 | 歩行時に非麻痺側への重心移動が困難であった一症例
～体幹機能と初動に着目して～ | 宇治徳州会病院 | 宮崎 達也 |
| 4 | 四肢の運動失調に対して運動学習を促し、独歩獲得に至った症例 | 京都岡本記念病院 | 往西 真子 |
| 5 | 多発性脳梗塞の再発による協調運動障害への理学療法経験
～レンズ核線条体動脈領域の再梗塞症例～ | 脳神経リハビリ北大路病院 | 米原 卓哉 |
| 6 | 高齢下肢切断者に対し、自宅退院後の義足生活定着を目指した症例 | 京都大原記念病院 | 川田 萌美 |

13:00～

第2セッション

第2会場

座長 むかいじま病院 齊藤 真祐子

- | | | | |
|----|---|----------|-------|
| 7 | 左大腿骨転子部骨折により観血的骨接合術を施行した症例
～安全な杖歩行の獲得を目指して～ | 丹後中央病院 | 上田 堅也 |
| 8 | 降段動作の左制御降下期において右前方への不安定性を認めた左大腿骨外顆骨折の一症例 | 田辺記念病院 | 安田 悠真 |
| 9 | Tcane 歩行にて屋内移動の獲得を目指した症例
～装具に着目して～ | 京都大原記念病院 | 岡崎 勇也 |
| 10 | 左上腕骨近位端骨折術後、関節可動域制限を呈した一症例
～上肢側方挙上、肩関節外旋、棘鎖角に着目して～ | 京都きづ川病院 | 山下 潤矢 |
| 11 | 足関節三果骨折により足部の回内制限を呈し歩容に影響した症例 | 洛西シミズ病院 | 中西 力也 |
| 12 | 右人工股関節全置換術後に見かけ上の脚長差が生じた症例についての検討 | 学研都市病院 | 大槻 悟司 |

13:00～

第3セッション

第3会場

座長 京都市立病院 藤田 康孝

- | | | | |
|----|---|----------|------|
| 13 | 大腿骨頸部骨折術後に増悪した腰痛とトレンデレンブルグ徴候への治療により
歩行能力が向上した1症例 | がくさい病院 | 西尾大智 |
| 14 | 要介助者の在宅生活の継続を考える際に必要な視点への気づき | 京都武田病院 | 吉田美月 |
| 15 | 膝蓋骨骨折後、膝関節屈曲可動域獲得に難渋した一例 | 学研都市病院 | 柴田航輔 |
| 16 | 変形性股関節症に対して人工股関節全置換術を施行した一症例
～股関節伸展制限に着目して～ | 山科病院 | 西澤健太 |
| 17 | 右アキレス腱部分断裂後に左脳梗塞を発症した症例
～前足部の位置覚に着目して～ | 丹後中央病院 | 杉江史啓 |
| 18 | 腰椎圧迫骨折による疼痛で活動量低下を呈した症例
～活動量の向上を目指して～ | 京都大原記念病院 | 梶谷啓太 |

14:20～

第4セッション

第1会場

座長 がくさい病院 蛭子 拓真

- | | | | |
|----|--|----------|------|
| 19 | 変形性膝関節症により人工膝関節全置換術(TKA)を施術し屋外歩行獲得を目指した症例
～外方スラストに注目して～ | 京都大原記念病院 | 岩崎航大 |
| 20 | 前足部への荷重に伴う体重移動を再学習し歩容が改善した症例 | 学研都市病院 | 田村和也 |
| 21 | 降段の左片脚支持にて右前方への安定性低下を認めた左大腿骨転子部骨折術後の一症例 | 田辺記念病院 | 野口宙斗 |
| 22 | 左BHA施行後、独歩を目指した一症例
～体重免荷歩行装置を用いて～ | 洛西シミズ病院 | 青垣夏月 |
| 23 | 足部のロッカー機能に着目し、歩行能力が改善した一症例 | 京都岡本記念病院 | 西村俊哉 |
| 24 | 左膝関節全置換術を施行し屋内外歩行の安定性向上に着目した症例 | 丹後中央病院 | 中村暢 |

14:20～

第5セッション

第2会場

座長 宇治徳洲会病院 神野 稔健

- 25 歩き出しのIC～MStの安全性向上を目指した左大腿骨転子部骨折の症例
丹後中央病院 宮本 柊
- 26 自宅退院に向けて、同居家族の協力が不可欠であった症例
～チームアプローチによる移乗動作介助指導～
京都武田病院 岡部 皓輝
- 27 既往歴に右片麻痺を有し、右大腿骨頸部骨折を受傷した症例
～屋内4点杖歩行自立を目指した症例～
京都大原記念病院 玉城 尚人
- 28 左官業の壁塗り動作において安全性・安定性の低下を認めたくも膜下出血術後の一症例
田辺記念病院 柴田 敏宏
- 29 自宅復帰を目標に病棟で行った環境設定について
～左大腿骨転子部骨折を呈した症例～
京都近衛リハビリテーション病院 信貴 颯人
- 30 腰椎後方固定術を施行された症例の起立動作に着目して
～活動範囲拡大のために～
八幡中央病院 吉田 有希

14:20～

第6セッション

第3会場

座長 京都きづ川病院 松下 翔

- 31 浅層筋と深層筋の関係性に着目した右人工股関節全置換術の症例
市立福知山市民病院 服部 悠
- 32 左レンズ核線条体動脈梗塞により右片麻痺を示した一症例
～歩行動作に着目して～
脳神経リハビリ北大路病院 鵜飼 良誠
- 33 長距離歩行時、左大腿外側に疼痛が生じることで耐久性の低下を認めた
左大腿骨頸部骨折患者に対する理学療法
六地藏総合病院 北川 翔平
- 34 右人工膝関節置換術後に疼痛が残存し、独歩の安全性獲得に苦慮した症例
丹後中央病院 松本 奈々
- 35 TKA後に生じた歩行時の大腿後面痛の解釈
～右膝関節内反変形に対してTKAが施行された一症例～
学研都市病院 酒井 菜月
- 36 右恥骨骨折で歩行困難を呈した症例
～杖歩行獲得に向けて、シルバーカー歩行の安定性向上を目指して～
京都大原記念病院 高橋 英嗣

15:40～

第7セッション

第1会場

座長 シミズ病院 山辺 美帆

- 37 BHA を施行し歩容改善と再転倒の予防に努めた症例
学研都市病院 中嶋 智宏
- 38 後方歩行時に右後外側への不安定性を認め安定性が低下した
左大腿骨転子部骨折術後の一症例
田辺記念病院 森下 徳孝
- 39 自我の強い左片麻痺を呈した症例
～自宅復帰後のT字杖・独歩の獲得に向け～
京都大原記念病院 高橋龍之介
- 40 C3~7 レベル頸髄損傷不全麻痺の症例の理学療法を経験して
～心理面に配慮した介入～
京都武田病院 山本 充祥
- 41 歩行動作の左立脚後期に転倒の危険性を認めた左大腿骨頸部骨折患者の理学療法
六地藏総合病院 足立 元気
- 42 アテローム血栓性脳梗塞を発症した症例
～歩行に着目して～
京都きづ川病院 安田あずみ

15:40～

第8セッション

第2会場

座長 介護老人保健施設やすらぎ苑 宮崎 大貴

- 43 右大腿骨転子部骨折を呈しγ-nail を施行した症例
～独歩の安定性向上に向けて～
丹後中央病院 新井 貴大
- 44 右橋梗塞を発症し、左片麻痺を呈した症例
～体幹・股関節周囲筋に着目して～
京都きづ川病院 東谷 佐和
- 45 大腿骨転子部骨折で長期免荷を余儀なくされた症例
～パーキンソン病罹患患者の起き上がり動作に着目して～
市立福知山市民病院 坪倉 成希
- 46 歩行持久性の低下した人工骨頭全置換術後症例の経過
洛西シミズ病院 筒井 琢也
- 47 左大腿骨転子部骨折術後に既往の変形性膝関節症による疼痛が増悪し
歩行能力が低下した1症例
がくさい病院 片山 佳栄
- 48 左急性硬膜外血腫を呈した症例について
～病棟生活を自宅生活に結び付けるために～
京都大原記念病院 福尾 勇弥

座長 京都大学医学部附属病院 増本 枝里子

- | | | | |
|----|--|-----------------|-------|
| 49 | 高齢の頰椎症性脊髄症術後に歩行獲得を目指した症例
～自宅復帰に向けて～ | 京都近衛リハビリテーション病院 | 高橋 達也 |
| 50 | 右膝関節人工置換術後、脊椎マルアライメントによって歩行獲得に難渋した一症例 | 京都九条病院 | 今井 嵩人 |
| 51 | 腰椎後方固定術後の腰痛へのアプローチ
～痛み心理社会的側面に着目して～ | 学研都市病院 | 渡邊 梨佳 |
| 52 | 重度の膝関節伸展制限により後方重心となり歩行困難になった症例
～ピックアップ歩行器歩行自立を目指して～ | 洛西シミズ病院 | 永井 楓 |
| 53 | 立ち上がり動作において後方への不安定性を認めた髄膜炎の一症例 | 田辺記念病院 | 室田 実夢 |
| 54 | 左片麻痺を呈した症例の歩容改善にむけたアプローチ
～体幹機能に着目して～ | 丹後中央病院 | 饗庭 一真 |